



外科の取り組み

茨城県西部メディカルセンターの外科は、主に腹部消化器領域疾患を対象に、診断治療を行っています。腹部消化器領域とは、胃から肛門までの消化管と、肝・膵・胆嚢疾患を指します。その良性、悪性を問わず、外科的な治療が対象です。当院は、2次救急を行う急性期病院であり、良性疾患に対しては虫垂炎や胆嚢炎、消化管穿孔、腸閉塞などを中心に24時間体制で対応しています。また、鼠径ヘルニア（いわゆる脱腸）に対しては病態に応じて適切な術式を選択し、1、2泊の短期入院での治療を行っています。悪性疾患（胃がん・大腸がん）に対しては、腹腔鏡を用いた手術も行っていますので、お気軽にご相談ください。

外来は、月曜日から金曜日までの毎日、午前中に行っています。受診には原則紹介状が必要ですが、外科的な治療が必要な場合には、速やかに検査を行い、受診から短期間のうちに安全に治療できるよう努めています。

将来の医師を育てつつ、地域のみなさんの健康のお力になれることを志していますので、よろしく願います。



なかやま けん 中山 健／医長

やまもと まさよし 山本 雅由／副病院長

いけだ おさむ 池田 治／医長

教えて！西部メディカルセンター

市民のみなさまから小児科についての疑問・質問にお答えします。

Q.1 小児科は誰でもかかれるの？

A. 中学生までの全ての人が選定療養費なしでかかることができます。当院は原則予約制ですが、小児科では急な発熱などが多いため来院いただいた人は原則診察します。予約優先で、待ち時間が長くなる場合もありますのでご了承ください。受付時間は午前8時30分～11時で、診察は平日（月～金）の午前中です。

Q.2 小児救急の場合はいつでも診察してくれるの？

A. <平日>

【午前】直接病院までお越しいただければ、外来診療を行います。

【午後】当院に連絡ください。状況により診察時間を指定することもあります。

【診療時間外】月曜、火曜、金曜日の午後5時30分～7時で診察を行います。検査などに時間を要する場合がありますので、できるだけ早い時間に受診してください。事前に電話連絡後、北口の救急受付までお越しください。

<日曜・祝日>

事前連絡のうえ、午前9時までに来院いただければ、病棟回診前に小児科医の診察が可能です。土曜日は、開業医の先生や「筑西市夜間休日一次救急診療所」でも診察できますので、ご利用ください。

Q.3 小児救急の目安を教えてください！

A. 呼吸が苦しい、嘔吐・下痢の回数が多い、尿量が少ない、ぼーっとしている、痙攣が止まらないなどが目安になります。発熱だけでは救急ではありません。

Q.4 予防接種・乳児健診はやってるの？

A. 予約制ですが実施しています。予約受付時間は平日午後2時～4時、電話連絡のみです。予約の際はご希望の旨をお伝えください。予防接種は水曜、金曜日の午後2時30分～3時30分、乳児健診は金曜日の午後1時30分～2時30分です。

Q.5 病児保育室「ひまわり」って何？

A. 保育の必要なお子さんが急な病気になり、集団保育が困難となった場合、仕事を休めない保護者の代りに、病児保育室で一時的にお預かりし、小児科医、看護師との連携のもと保育士がお子さんの世話をします。保育時間は午前8時～午後6時、利用料金は1日2,000円です。筑西市民で2・3号認定を受け保育施設を利用しているお子さんと、生活保護世帯は無料です。

ご利用の際は事前に登録が必要となりますので、詳しくは当院のホームページ又は電話（24-9126）で問合せください。



Q.6 病児保育室「ひまわり」に突然行っても預かってくれるの？

A. 必要書類をすべて持参し、当日定員に空きがあった場合はお受けします。定員に満たない場合でも、感染症の種類により受けられない場合もあります。8時30分以降に申し込んだ場合は昼食、おやつを用意できませんので、ご了承ください。



問 茨城県西部メディカルセンター

☎ 24-9111

HP <http://www.iwmo.or.jp>